



第18回NM-GCOEセミナー

林 拓也 先生

(理化学研究所・分子イメージング科学研究センター)

2009.11.26
医学部5号館6F
リフレッシュ
ルーム

～脳損傷後の機能可塑性についてヒト・サルを含めた脳内メカニズム解明 －神経画像法を用いた connectivity の検討～

爽やか笑顔の講師・林拓也先生



セミナー前に
記念の1枚!

現在神経再生の研究をしており、また神経内科医でもある私自身の立場からはかなり興味深い内容でした。脳損傷後の機能可塑性のお話は、自分自身が臨床で経験した症例と重ね合わせ、実はこのようなことが起きていたのかなどと考えながら拝聴しておりました。脳機能の解析だけでなく、再生医療における応用の期待も大きい魅力的な研究だと感じました。

松瀬 大 (細胞組織学・大学院生)



講師紹介

出澤真理教授



今回のセミナーは、脳損傷後の機能可塑性について PET や MRI 等の神経画像法を用いたアプローチという発表でした。

普段はほとんど触れることのない分野なので細かい部分まで理解するのは難しいと思いましたが、分かりやすく丁寧に説明して下さい、とても興味の持てる内容でした。

若尾 昌平
(細胞組織学・助手)

食い入るようにつめま

